



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.5.23 No.4602

夏季物販

全国の仲間たちに 勝利の報告を!

夏季物販が始まった。今回取り組みは、第一波・二波スト解除撤回闘争がぎりひらいた勝利の地平の上に取り組まれる特別に重要な意味をもつ物販だ。

夏季物販で、② かちとった解雇撤回闘争の勝利を報告し、① 全国の仲間たちからおくられたこの間の多大なご支援に心からの感謝の気持ちを伝え、③ として清算事業団闘争勝利！ J R体制打倒に向けた総反撃の闘いにつつ決意を訴え、④ さらなる支援を要請を要請しよう。

すでに、要請に訪れた組合では、「二八名の公労法解雇全員の撤回」の報告に対し、大きな反響がまきおこっている。「すごいことですね」「今回はこの勝利を組合員に報告し、いつもより売り上げをあげます」「詳しく話を聞かせてください!」「リストラや権利のはく脱が吹き荒れる全国の職場では、闘いの勝利の報告を待ちのぞんでいる。

動労千葉の物販は、この十年間、取り組みのたびに注文件数が増え続け、二倍以上に伸びている。これは驚異的なことだ。連合の総屈服と大失業時代が到来する状況のなかで、動労千葉と国鉄闘争に対する期待の声がこれまでになく高まっている。

北海道・九州採用差別事件の五・二結審から夏に向けて一〇四七名の解雇撤回闘争も最大の正念場を迎えた。政府-J R当局-J R総連・革マルは、清算事業団闘争解体に向けた衝動をこれまでになく強めている。全組合員の総行動で、九七夏季物販を成功させよう!

5/15沖縄ー18北富士 闘争に連続決起!

基地と安保を ぶっつぶそう!

ー5/15 松町公園ー
沖繩「復帰」二五周年の五月十五日、沖繩現地での闘いと連帯して、東京・桜町公園で、「沖繩は生きぬくぞー憲法違反の土地強奪を許さない!五・一五集会」が開催された。

集会には五五〇名が結集、「復帰から二五年たっても基地の重圧は同じだ。……特措法『改正』案はほとんど実質審理抜きで可決、まさに民主主義は殺された。……嘘の言葉をこれ



以上沖繩に対して重ねることは許されない。……米軍基地をただちに撤去させよう」と訴え、防衛庁から青山までのデモ行進を闘いぬいた。

沖繩の闘いを踏み躪る攻撃の背後で、朝鮮半島を射程に入れた戦争準備が進められている。六月、日米防衛協力の指針(ガイドライン)改訂の中間報告ー九月改訂強行がもくろまれていく。その内容は、「人道的援助」や「避難民の救出」を口実にすれば、どこにでも自衛隊を派兵できるといふものだ。基地と安保をぶっつぶそう!

「入会地を渡すな、 は親の遺言」

ー5/19北富士演習場内ー
五月十八日、忍草母の会の呼びかけで、北富士演習場内で、演習場撤去、入会地奪還、在沖米軍実弾演習北富士移転阻止に向けた総決起集会が開催された。橋本内閣は、国益論をふりかざして山梨県を屈服させ、在沖米軍の実弾演習の北富士移転を



28名の解雇撤回の勝利の報告を行なう田中書記長

強行した。富士山梨ヶ原は地元農民の古来からの入会地だ。自衛隊の演習場のみならず、米軍の実弾演習場として北富士を奪いつづけようとするこの攻撃は、これまで以上に入会権を侵害するものだ。そして、北富士を朝鮮・アジアへの出撃基地にしようとするものだ。

忍草母の会は、集会に先立つ四月二十七日、二四時間の着弾地座り込みを敢行した。集会でも座込み而起ちあがった天野美恵さん、正子さんからは、「私たちは演習場撤去まで何度でもギリラに入ります」「入会地は絶対に渡してはならない、というのは親の遺言です。梨ヶ原・丸尾を奪い返すまで闘います」と高らかな決意表明が行なわれた。